

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	Java III	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	6 単位
学 年	2年次		時間数	120 時間
開講学期	前 期		授業形態	演 習
履修区分	必 修		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	Javaのサーバーサイドプログラミングについて学びます。 JSP & サーブレットの仕組みを理解し、環境を構築し、実際にWebシステムの開発作業を通して、実践に近いシステム作りのノウハウを学習します。			
到達目標	Servlet と JSP を利用したサーバ側のアプリケーション開発ができる。 Tomcat の仕組みを理解し、アプリケーションをデプロイすることができる。 eclipse を活用したWebアプリケーションの開発ができる。 データベースにアクセスすることができる。			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP 第5版/SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	サーブレットとJSPの基本概念		
	2	サーブレットの作成手順		
	3	サーブレットの作成手順		
	4	web.xml と 文字のエンコーディング		
	5	フィルターの実装方法		
	6	HTTPプロトコルのGET及びPOST処理		
	7	アノテーションの利用とHEADER情報の取得		
	8	JSPの実装方法		
	9	JSPの実装方法		
	10	サーブレットとJSPの連動		
	11	サーブレットとJSPの連動		
	12	Eclipseによる開発		
	13	Webアプリケーションの状態管理		
	14	EL式とカスタムタグ		
	15	データベースの操作演習		
授業の進め方・履修の心構え	Java言語を利用したWebアプリケーション開発の技能を身に付けることを前提とします。Tomcatを使用し、実際に演習しながらWebアプリケーション開発の基礎知識を学んでいきます。			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	システム検証Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	演習	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	実際の業務現場では、新規開発案件よりも既存システムを流用して拡張していくことが多いのが実情です。そこで、本科目では、出来上がったシステムを検証し、より良いものにするという方向の開発作業を実践していきます。			
到達目標	アプリケーションの問題点を発見し、修正できる。 上流工程の理論を理解する。 各設計書（仕様書）を読み解き、簡易なコンソールアプリケーションの設計ができる。			
教科書・教材	オリジナル			
授業計画	回	内容		
	1	開発関連の用語、開発手法や開発の流れの理解		
	2	簡易なコンソールアプリケーションの分析		
	3	問題点の抽出（テストを含む）		
	4	入力データの整合性チェック		
	5	改造方法の提案と仕様の変更		
	6	仕様通りのコーディング		
	7	【実習】 Webベースでのプログラムの分析		
	8	【実習】 仕様の作成		
	9	【実習】 仕様の作成とレビュー		
	10	【実習】 コーディング		
	11	【実習】 コーディング		
	12	【実習】 単体テスト		
	13	【実習】 仕様の修正		
	14	【実習】 コードの修正		
15	実習結果発表 単位認定試験			
授業の進め方・履修の心構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他科目との進捗を考慮し、コンソールアプリケーションの分析と改造で基本を知り、Webアプリケーションへと応用していく</li> <li>・ユーザー（利用者）側に立ってアプリケーションを考えながら受講する</li> </ul>			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	ビジネスマナーⅠ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ビジネスマナーの基本を身につけて、時間的にも心にも余裕をもって就職活動を行うことを目的とします。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自信をもって就職活動を行える。</li> <li>2. 就職活動の手順を理解できる。</li> </ol>			
教科書・教材	入社1年目ビジネスマナーの教科書／プレジデント社			
授業計画	回	内容		
	1	第1章 ビジネスマナーの基本1～姿勢、服装、心構え		
	2	第1章 ビジネスマナーの基本2～言葉遣い、気遣い、あいさつ		
	3	第6章 敬語の基本		
	4	第7章 報告・連絡・相談の基本		
	5	第3章 話し方・聞き方		
	6	第10章 ビジネス文書の基本		
	7	第10章 ビジネス文書の手書き対応		
	8	第10章 ビジネス文書の手書き対応		
	9	第11章 ビジネスメールの基本		
	10	第5章 電話対応		
	11	第9章 会社訪問の基本		
	12	実践練習2 メールから応募書類の送付まで		
	13	実践練習2 メールから応募書類の送付まで		
	14	実践練習3 アポイントメントから会社訪問まで		
15	実践練習4 就職試験			
授業の進め方・履修の心構え	毎週、授業開始10～15分程度で、前週に学んだことの振り返りとして小テストを行います。 講義とテストを通してマナーを身に着けることが重要です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</li> <li>(2) 課題の提出状況</li> <li>(3) 単位認定試験の点数</li> </ol>			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2024年度	科目名	3Dグラフィック	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	Blenderを使用した3Dモデル制作を学習します。まずは基礎的な内容から始め、レンダリングやアニメーション等の3DCGには欠かせない技術を学習します。			
到達目標	基本的な3D技術の理解及び習得を目標とする。習得した技術を使いオリジナルのモデルを作ります。			
教科書・教材	作りながら楽しく覚える Blender/ラトルズ			
授業計画	回	内 容		
	1	Blenderの基本操作・初期設定		
	2	モデリング・モデリングの基礎		
	3	モデリング・キャラクター		
	4	質感設定 (マテリアル・UVテクスチャ)		
	5	モデリング・応用		
	6	カメラ・ライティング・レンダリング		
	7	モデリング (背景) +レンダリング		
	8	アニメーション・モーショントラッキング		
	9	ボーン・ウェイトマップ		
	10	キャラクターアニメーション		
	11	復習と自由制作準備		
	12	自由制作		
	13	自由制作		
	14	自由制作		
15	制作物発表および評価			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、問題解答と演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	Webマーケティング	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	基本的なマーケティングからその中で使用されるWebの活用について知り、マーケターとしての知識を学びます。Web以外にも様々なマーケティング手法がありますので合わせてそのいくつかの考え方や手法を学びます。			
到達目標	Webマーケティングに関する基本知識を習得します。			
教科書・教材	オリジナル			
授業計画	回	内容		
	1	マーケティングの基本		
	2	顧客ニーズをとらえる①		
	3	顧客ニーズをとらえる②		
	4	マーケティングリサーチのとは		
	5	マーケティングリサーチの手法		
	6	マーケティングミックスを策定①		
	7	マーケティングミックスを策定②		
	8	マーケティングの目標設定と効果測定①		
	9	マーケティングの目標設定と効果測定②		
	10	デジタルマーケティングの基礎①		
	11	デジタルマーケティングの基礎③		
	12	BtoBにおけるマーケティングとは		
	13	総合演習①		
	14	総合演習②		
15	総合演習③			
授業の進め方・履修の心構え	システム戦略で学んだマーケティングについてもっと深掘する内容になります。実際の企業がどのようなマーケティング(Web)しているか参考にしながら学んでいきます。Webの管理・運営を主体とする職種を目指す学生は受講してみてください。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況 (3) 最終成果物の完成度			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	Word演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Wordの基礎となる設定を理解し、ビジネス文書や見栄えのする文書を作成・編集するための高度な技術を学習していきます。さらにもう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	高度な編集技術を身に付け、文書処理技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Wordマスター演習問題集 2021/2019/365対応／ムゲンダイ出版 2021対応Word文書処理技能認定試験1・2級問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	入力練習と文書編集		
	2	段落書式		
	3	表の挿入と編集		
	4	差し込み印刷		
	5	ヘッダー・フッター		
	6	スタイル		
	7	グラフィックスの挿入		
	8	相互参照・目次・索引		
	9	変更履歴とコメント		
	10	検定試験対策 1 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	11	検定試験対策 2 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	12	検定試験対策 3 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	13	検定試験対策 4 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	14	検定試験対策 5 (知識・実技問題の実施及び解説)		
15	検定試験対策 6 (知識・実技問題の実施及び解説)			
授業の進め方・履修の心構え	演習問題を解きながらWordを使いこなす応用力や考える力を養います。 1級取得を目指してほしいです。			
目標資格	Word文書処理技能認定試験 2 級以上			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	マネジメント II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	マネジメントについての体系的な知識の概要を理解し、企業の経営戦略およびIT戦略を立案、これを遂行するための実践力を学びます。			
到達目標	IT関連業務の全容を把握し、マネジメントしていくための手法を習得することを目的としています。			
教科書・教材	オリジナルテキスト			
授業計画	回	内 容		
	1	マネジメントとは		
	2	プロジェクトとは		
	3	システム開発とは		
	4	経営・システム戦力とは		
	5	ステークホルダーの関わり方		
	6	どうしたらできるか、「6W2H」の考え方		
	7	要求事項をまとめ方		
	8	「成果物」「スケジュール」を可視化する		
	9	「戦略的思考」とは/「マネージャー」「リーダー」の違い		
	10	仮想会社へのヒアリング①		
	11	仮想会社への企画提案① (立案)		
	12	仮想会社への企画提案② (資料作成)		
	13	仮想会社への企画提案③ (資料作成)		
	14	プレゼンテーション①		
15	プレゼンテーション②			
授業の進め方・履修の心構え	オリジナル課題を使うのでわからないことは率先して聞いてください。企画力・提案力・発想力を付けるため、様々な自由な発想をして欲しいです。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況 (3) 最終課題の完成状況			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	CSS・WebSite構築	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の實務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	スマートデバイスが普及しWebの利用形態も多様化しています。様々なデバイスに対応可能なWebデザイン手法について、実践を通して学びます。			
到達目標	ゼロから自分でデザインしWebサイトを構築できる			
教科書・教材	Figma これからはじめるFigma Web・UIデザイン入門			
授業計画	回	内容		
	1	Webデザインのための環境構築		
	2	ワイヤーフレーム作成方法		
	3	既存のサイトからワイヤーフレーム作成		
	4	デザインカンパ作成方法		
	5	デザインカンパ作成方法		
	6	デザインカンパ作成方法		
	7	デザインカンパ作成方法		
	8	デザインカンパからWebサイト作成演習		
	9	デザインカンパからWebサイト作成演習		
	10	オリジナルWebページ構築～企画・ワイヤーフレーム作成		
	11	オリジナルWebページ構築～企画・ワイヤーフレーム作成		
	12	オリジナルWebページ構築～カンパデザイン作成		
	13	オリジナルWebページ構築～カンパデザイン作成		
	14	オリジナルWebページ構築～カンパデザインを元にコーディング		
15	オリジナルWebページ構築～カンパデザインを元にコーディング			
授業の進め方・履修の心構え	Figmaの使い方を学び、ゼロからデザインを作成しそこからWEBサイト作成することができるようになっていきます。コーディングをデザインに沿って正確に行えるようにします。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	国家試験対策 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2 単位
学 年	2年次		時間数	30 時間
開講学期	前 期		授業形態	講 義
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	「国家試験対策 I」に引き続き、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。特に基本情報技術者試験の修了認定試験合格者向けに科目Bの問題の演習を中心に行います。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材	基本情報技術者科目B問題集／(株)インフォテック・サーブ 基本情報技術者科目B模擬試験／TAC(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	2	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	3	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	4	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	5	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	6	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	7	小テスト		
	8	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	9	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	10	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	11	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	12	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	13	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	14	小テスト		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	「国家試験対策 I」を履修したことが条件になります。科目Aの問題よりさらに専門的な知識を求められるので、今まで学習した基礎知識の復習が大切になります。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 模擬試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	AI概論 II	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	AIの基礎知識の復習からAIの利用目的、各種開発・研究におけるAIの利用を学びます。			
到達目標	AIの利用目的・開発・研究分野の考え方を理解する。			
教科書・教材	基礎から学ぶ 人工知能の教科書 / オーム社			
授業計画	回	内 容		
	1	人工知能の概要		
	2	人工知能の歴史		
	3	機械学習の原理と方法		
	4	機械学習の手法		
	5	知識表現と推論		
	6	ニューラルネットワーク		
	7	深層学習		
	8	進化的計算と群知能		
	9	自然言語処理		
	10	画像認識		
	11	エージェントと強化学習		
	12	人工知能とゲーム		
	13	人工知能のこれから		
	14	人工知能の応用例		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	AI概論 I を受講した学生が対象になります。テキストとスライドを利用して学習していきます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	SQL演習 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	SQL文だけではなく、実際にある身近なものをデータベース化するための設計手法を学び、上流工程であるデータベース設計を習得します。			
到達目標	複数のテーブルを使用使用したSQLの習得と、データベースの設計手法について理解を深める。			
教科書・教材	スッキリわかるSQL入門第3版/(株)インプレス			
授業計画	回	内 容		
	1	MySQLのインストール		
	2	MySQL Workbenchの使い方を学ぶ		
	3	副問い合わせ		
	4	副問い合わせの練習問題		
	5	テーブルの結合		
	6	テーブルの結合の練習問題		
	7	データベース概念設計		
	8	データベースの論理設計		
	9	データベースの物理設計		
	10	データベース設計の練習問題		
	11	データベース設計(グループワーク)①		
	12	データベース設計(グループワーク)②		
	13	データベース設計(グループワーク)③		
	14	データベース設計(グループワーク)④		
15	作成したデータベースの発表			
授業の進め方・履修の心構え	教科書をベースに進めていき、実際にSQLを実行していきます。 また、データベース設計では、教科書を学ぶだけではなく、グループでデータベース設計を行ってもらいます。			
目標資格	OSS-DB Silver			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 成果物の完成状況			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	サーバ基礎	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	サーバに関する基礎知識から始め、ネットワークやセキュリティとの関わり、サーバの種類や役割について学んでいきます。実機を用いた学習により、クライアントとサーバとの違いや設定方法について理解を深めます。			
到達目標	サーバについての基礎知識の習得、ネットワークやセキュリティとの関わりを理解を目標とします。			
教科書・教材	おうちで学べるサーバのきほん/㈱翔泳社			
授業計画	回	内 容		
	1	サーバとは何かを学ぶ		
	2	身の回りにあるサーバを調べる		
	3	様々なサーバの役割を学ぶ		
	4	身の回りにあるサーバの役割を調べる		
	5	サーバのハードウェアを学ぶ		
	6	コンピュータを分解してサーバの構造を調べる		
	7	サーバのソフトウェアを学ぶ		
	8	身の回りにあるサーバのソフトウェアを調べる		
	9	ネットワークを復習してサーバについての理解を深める		
	10	身の回りにあるサーバのネットワークを調べる		
	11	ネットワーク図を学び、身の回りにあるサーバのネットワーク図を作成する		
	12	学校のネットワーク図を作成する①		
	13	学校のネットワーク図を作成する②		
	14	学校のネットワーク図を作成する③		
15	作成したネットワーク図を発表する			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格	Cisco Certified Network Associate (CCNA)			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	就職準備	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	4 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職準備のための授業です。講座の中で自分の理想とする職業像をイメージし、就職活動に必須の準備を終了させます。自己分析・企業研究から始まる履歴書完成、エントリーシート準備、面接試験対策など具体的に作業していきます。机上の作業だけではなく、足・目・頭など体を十分に動かして準備していきましょう。			
到達目標	春休み前から就職活動を開始し、早期内定取得			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	就職活動の進め方／自分史の作成		
	2	働くことについて／自己分析・作文		
	3	自己分析・作文		
	4	自己分析・作文／業界・企業研究		
	5	業界・企業研究／給与・税金・保険・年金について		
	6	業界・企業研究／IT業界について		
	7	前年度生からの就活プレゼン／履歴書の作り方（経歴・資格欄）		
	8	前年度生からの就活プレゼン／面接試験について		
	9	前年度生からの就活プレゼン／就職活動計画		
	10	前年度生からの就活プレゼン／履歴書の作り方（自己PR）		
	11	履歴書の作り方（自己PR）／面接練習		
	12	履歴書の作り方（志望動機）／面接練習		
	13	履歴書の作り方（志望動機）／面接練習		
	14	履歴書の作り方（見本作成）／面接練習		
15	履歴書の作り方（見本作成）／面接練習			
授業の進め方・履修の心構え	早期内定獲得に向け、言われてやるのではなく自主的な姿勢で臨みましょう。就職活動に必要な物は、本番がスタートする前に用意しておきましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 模擬面接による評価 (3) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	JSP・Servlet演習	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	サーブレットやJSPの基本知識を応用し、独自で簡単なWebアプリケーションの構築を実践します。入手しやすくインストールも簡便なApache Tomcatをアプリケーションサーバーとして使用し、MySQLのデータベースを操作します。前期の実習時間が少なかったことを補うように、多くの時間をプログラムの開発に割り当てます。			
到達目標	与えられた課題について、前期のJavaIIIで学んだサーブレットやJSPの知識を生かし、独自でアプリケーションを構築します。ログイン操作、データベースへの登録、登録したデータの表示、変更、削除等の機能を実装します。就職後、即戦力になるような応用能力を身に付けることを目標とします。			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP 第5版/SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内容		
	1	要求仕様の理解や計画		
	2	データベース設計		
	3	〃		
	4	プログラムの作成		
	5	〃		
	6	〃		
	7	〃		
	8	〃		
	9	〃		
	10	〃		
	11	〃		
	12	〃		
	13	プログラム動作の検証及びテストの実施		
	14	〃		
	15	プレゼンでの発表		
授業の進め方・履修の心構え	独自で与えられた要求仕様に基づいてアプリケーションを完成する技能を身に付けることを前提とします。前期で学んだサーブレットやJSPの基礎知識を応用し、実際に簡単なアプリケーションを開発していきます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および理解度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2024年度	科目名	システム検証 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	システム開発をする際、設計時には多くのドキュメントを作成します。本科目では、開発時の設計書を元に制作物をトレースしていきます。目の前で実行されているシステムにはどんな画面遷移があるのか、どれだけのプログラムが書かれているか、システムを追いかけながら検証していきます。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存コードから、そこに至るまでの工程を理解し、仕様を書き起こせること。</li> <li>・ テスト手法を理解しテストできること。</li> <li>・ 部分的な設計書（外部。内部）を作成できること。</li> </ul>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	開発の流れの理解・要件定義の理解		
	2	既存コードから要件定義書の書き起こし		
	3	外部設計の理解		
	4	既存画面から外部設計書の作成		
	5	結合テストの理解		
	6	結合テストの実行とバグレポートの作成		
	7	内部設計の理解		
	8	既存コードから内部設計書の作成		
	9	設計書からコードの書き起こし		
	10	単体テストの理解と実行		
	11	単体テストの実行		
	12	【実習】要件定義の理解と外部・内部設計書作成		
	13	【実習】要件定義の理解と外部・内部設計書作成		
	14	【実習】要件定義の理解と外部・内部設計書作成及びコーディング		
15	成果物の提出 認定試験			
授業の進め方・履修の心構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やや複雑なWebアプリケーションからバグを探し報告書を作成するところから始める</li> <li>・ 外部設計及び内部設計の書き方を理解</li> <li>・ SEの仕事の一部を理解する</li> </ul>			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	Access演習	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	データベースの基本から「テーブル」「クエリ」「フォーム」「レポート」といった主要機能、関数やマクロまでを、データベースの活用事例を通じて、実務レベルにおけるAccessの利用方法・操作技法を習得します。さらに、もう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	Accessの基礎から応用まで幅広く知識を身に付け、ビジネスデータベース技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Access 2019 テキスト基礎編／ムゲンダイ出版 2021対応Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	Accessの基礎		
	2	テーブル作成と編集		
	3	フォーム作成と編集		
	4	クエリ 1		
	5	クエリ 2		
	6	クエリ 3		
	7	クエリ 4		
	8	リレーションシップ		
	9	レポート作成と編集		
	10	サブフォームとサブレポート		
	11	マクロ		
	12	検定試験対策 1		
	13	検定試験対策 2		
	14	検定試験対策 3		
15	検定試験対策 4			
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿って学習します。適宜補助プリントも使用します。 学習内容が多く進み方も早いです。欠席しないようにしてください。			
目標資格	Accessビジネスデータベース技能認定試験 2 級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2024年度	科目名	ゲーム制作 I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	本講座は、Unityエディターによるゲーム開発の基礎講座です。 授業を通して、ゲーム開発の基本概念を理解し、ゲームデザインの基礎を習得することが学習目標です。			
到達目標	1.Unityエディターの基本的な操作方法を習得し、ゲームオブジェクトの配置、操作、設定を理解する 2.C#言語の基本構文を理解し、Unityでのスクリプト制作に必要なプログラムを記述できるようになる 3.物理エンジンの利用方法を学び、オブジェクトの動きや衝突をシミュレートできるようになる 4.アニメーションとユーザーインタラクションの実装方法を習得し、ゲーム内の要素を魅力的に表現できるようになる 5.ゲームデザインの基礎を学んで、プレイヤーエクスペリエンスを向上させる要素やゲームメカニクスを考える能力を身に付ける 6.テストとデバッグの方法を理解し、問題を発見して修正するスキルを磨く			
教科書・教材	Unityの教科書 Unity 2023完全対応版/SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	イントロダクション：ゲーム制作について、Unityとは		
	2	C#スクリプトの基礎：変数、制御文、配列、メソッド		
	3	C#スクリプトの基礎：クラス定義、Vector2Dクラス		
	4	テキスト：「占いルーレット」の作成		
	5	テキスト：「寸止めゲーム」の作成①		
	6	テキスト：「寸止めゲーム」の作成②		
	7	テキスト：「矢をよけるゲーム」の作成①		
	8	テキスト：「矢をよけるゲーム」の作成②		
	9	テキスト：「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成①		
	10	テキスト：「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成②		
	11	テキスト：「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成③		
	12	テキスト：「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成④		
	13	課題：自由制作		
	14	課題：自由制作		
15	課題：自由制作			
授業の進め方・履修の心構え	テキスト並びにそれに準じた課題制作を通じて、ゲーム開発に必要な基本スキルを身に付けます。 ・積極的に授業に参加し、知識を吸収する意欲を持ちましょう ・集中して授業内容を理解し、質問や議論に積極的に参加しましょう ・新しい概念や知識に対して柔軟な考え方をもち、理解に時間がかかっても忍耐強く取り組みましょう			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	システムマネジメント	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	システムマネジメントの中でもプロジェクトマネジメントについて学ぶ。「交渉」～「保守改善」まで一連の流れを基に沿って進めていく。具体的に仮想企業に対するプロジェクトを考えてノウハウを学習します。			
到達目標	プロジェクトに関する、企画・提案・見積・スケジュールのノウハウを身につける。			
教科書・教材	プロジェクトマネジメントの基本が全部わかる本/翔泳社 オリジナルテキスト			
授業計画	回	内 容		
	1	プロジェクトマネジメントのスキル		
	2	プロジェクトとはなにか (基本的な知識と考え方)		
	3	交渉 (適切なパートナーシップを築こう)		
	4	タスクマネジメント (チームでパスワードをしよう)		
	5	プロジェクト計画 (目標や進め方を決めよう)		
	6	見積り/契約 (必要な費用とスケジュールを構想しよう)		
	7	要件定義/デザイン (顧客が本当に必要だったものを目指そう)		
	8	設計		
	9	テスト/リリース/保守改善		
	10	実践応用①		
	11	実践応用②		
	12	実践応用③		
	13	実践応用④		
	14	提案発表①		
15	提案発表②			
授業の進め方・履修の心構え	架空の会社をベースに、実際のプロジェクト同様な企画・提案・見積・スケジュールを考えていく。様々な視点でPDCAを続けていく。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況 (3) 成果物の完成度			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	プレゼンテーション I	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目では、PowerPointの基礎的な使用方法、活用方法を学習します。また実践（準備・発表・評価）を通して、コミュニケーション能力および自己表現能力を高め、就職試験や面接に向けた対策を行います。			
到達目標	就職活動開始時に自己紹介と自己アピールができる			
教科書・教材	PowerPoint			
授業計画	回	内 容		
	1	科目説明 / プレゼンテーションの定義・目的・基本的な作り方		
	2	練習課題①		
	3	伝わる資料とは		
	4	わかりやすいとは		
	5	練習課題②		
	6	フォントについて		
	7	資料が見やすくなるデザインの基本～文字・文章・配置～		
	8	資料が見やすくなるデザインの基本～色・強調～		
	9	練習課題③		
	10	わかりやすい話の構成の仕方		
	11	話し方の基本		
	12	伝わる話し方とは		
	13	視線・ボディコントロールについて		
	14	実践課題①		
15	実践課題②			
授業の進め方・履修の心構え	プレゼンテーションをすることの目的を理解し、相手に伝えるとはどういうことかを考えることが重要です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2024年度	科目名	HTML応用 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	webサイトにおいて動きのあるサイトを作成する方法を学びます。 そのために必要な最新のJavaScriptの基礎知識とjQuery、CSSを学びます。			
到達目標	WEBサイトに様々な動きやデザインを組み込むことができるようになり、それを活用してサイトを構築する。			
教科書・教材	確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版/SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	JavaScriptの環境構築とSCSSについて		
	2	JavaScriptの基本文法		
	3	JavaScriptのイベントとオブジェクト		
	4	JavaScriptで画像操作やスライドショー		
	5	JavaScriptで画像操作やスライドショー		
	6	ゲーム制作課題		
	7	ゲーム制作課題		
	8	jQueryについて/ナビゲーションメニューやアニメーション		
	9	WebAPIについて		
	10	WebAPI課題		
	11	単位認定課題①		
	12	単位認定課題②		
	13	単位認定課題③		
	14	単位認定課題④		
15	単位認定課題⑤			
授業の進め方・履修の心構え	最初は教科書に沿って基礎的なことを学び、演習で自分で調べて実装する力を身に着ける。学んだことを生かして、プログラミングしWebページに組み込むことができる。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	グラフィック応用Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	これまで「2Dグラフィック」、「3Dグラフィック」で学習した基礎知識をもとに、より洗練されたデザインテクニックについて学習します。人を惹きつけるデザインや自分の目的を相手に伝える手法を学びながら、自分のオリジナルデザインを制作します。			
到達目標	・より複雑なデザインテクニックの手法を理解し、自分の目的をデザインに表現すること、音楽や動画作成の基本技術を理解し、簡単な映像作品を作成できること。			
教科書・教材	なるほどデザイン 目で見て楽しむ新しいデザインの本。/エムディエヌコーポレーション			
授業計画	回	内容		
	1	ガイダンス (授業の進め方・より複雑なデザインの考え方・MacOSの操作)		
	2	Photoshop・Illustratorの応用操作		
	3	iMovie (動画作成) の基本操作		
	4	写真を活用した映像制作		
	5	Garageband (音楽作成) の基本操作		
	6	Garageband (ナレーション) の録音・編集		
	7	Garageband (音楽作成) の実践		
	8	iMovie (動画作成) の実践		
	9	動画撮影の基本テクニック		
	10	字コンテ・絵コンテの基本知識		
	11	作品制作の準備 (作品のコンセプト・何を伝えるのか・絵コンテ作成)		
	12	作品制作 1		
	13	作品制作 2		
	14	作品制作 3		
15	作品発表会 (作品の発表評価)			
授業の進め方・履修の心構え	<p>最初にデザインテクニックについて教科書をもとに学習し、以降は自分の表現したいものをデザインしていきます。また、音楽や映像などマルチメディアの要素を取り入れながら、自由な発想力をもって作品作成を行います。</p> <p>講師による説明後、演習を行います。基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。毎回授業中に課題を出し、メールで提出してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベストチョイス (出題テーマについて思うこと)</li> <li>・ベストスナップ (自分で撮影した写真にタイトルをつけ提出)</li> <li>・ベストサウンド (心に残った音を報告)</li> </ul>			
目標資格	illustratorクリエイター能力認定試験 Photoshopクリエイター能力認定試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	一般教養Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目では、高校までに学んだ一般常識の復習およびSPIを中心とした就職試験についての知識を学びます。また、SPIを基にした模擬試験を実施します。			
到達目標	就職試験における筆記および面接に役に立つ一般常識を身につける。			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	SPIとは/小数・分数の計算/割合の単位/1次方程式の基礎		
	2	集合/仕事算		
	3	順列・組合せ/確率		
	4	料金の割引・分割・精算/損益算		
	5	速さ/旅人算/通過算		
	6	割合/濃度算		
	7	小テスト		
	8	表の読み取り/集計表		
	9	物の流れと比率/領域		
	10	長文の読み取り/資料の読み取り		
	11	推論		
	12	小テスト		
	13	二語関係/熟語/語句の用法		
	14	長文読解/文の並べ替え		
15	総合演習			
授業の進め方・履修の心構え	就職活動における基礎的な知識の学習になるため、しっかりと身につくよう復習をすることが大切です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 模擬試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	グループワーク I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	次年度、総合制作を間近に控えたクラスを対象に開講。システムや作品を作り上げるために学年を越えて意思交換、意見交換をスムーズに行うために簡単なグループワークを通して学ぶことを目的とします。			
到達目標	簡単なグループワークを通して他学年との交流深め、他者との意思交換できる力を身につける。 1. 他学年との交流を深める。 2. 他学年との意思交換、意見交換を行う。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	グループ制作の特性、意味		
	2	グループワーク (チームに分けテーマを決める)		
	3	グループワーク (チーム毎に作業分担を決め作業)		
	4	グループワーク (チーム毎に作業)		
	5	グループワーク (チーム毎に作業)		
	6	プレゼン発表		
	7	プレゼン発表		
	8	チーム作業の振り返り		
	9	グループワーク (チームに分けテーマを決める)		
	10	グループワーク (チーム毎に作業分担を決め作業)		
	11	グループワーク (チーム毎に作業)		
	12	グループワーク (チーム毎に作業)		
	13	グループワーク (チーム毎に作業)		
	14	プレゼン発表		
15	プレゼン発表			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意思交換・意見交換をしてもらいたいです。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	国家試験対策Ⅲ	
科目基本情報				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	「国家試験対策Ⅱ」に引き続き、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。特に基本情報技術者試験の修了認定試験合格者向けに科目Bの問題の演習を中心に行います。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材	基本情報技術者科目B問題集／(株)インフォテック・サーブ 基本情報技術者科目B模擬試験／TAC(株)			
授業計画	回	内容		
	1	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	2	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	3	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	4	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	5	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	6	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	7	小テスト		
	8	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	9	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	10	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	11	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	12	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	13	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	14	小テスト		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	「国家試験対策Ⅱ」を履修したことが条件になります。わからない箇所を明確にし、自分の苦手分野を理解して学習を行うことが重要になります。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 模擬試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	コミュニケーション I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	就職試験対策講座である。コミュニケーション能力を向上を目的とし、就職活動に向けての自己表現や他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための基本的な考え方や手法を学ぶことを目的とします。			
到達目標	「はなす」「きく」の基本を学び、他者との交流がスムーズに行えるようになる。 1. 「はなす」「きく」の考え方や手法を身に付ける。 2. 多くの人中での「はなす」「きく」の考え方や手法を身に付ける。 3. ビジネスマナー I におけるビジネスコミュニケーションの復習。			
教科書・教材	入社1年目ビジネスマナーの教科書/プレジデント社オリジナルテキスト			
授業計画	回	内 容		
	1	言葉の伝達方法①		
	2	言葉の伝達方法②		
	3	言葉の力		
	4	コミュニケーションの基本を身につけよう①		
	5	コミュニケーションの基本を身につけよう②		
	6	きれいな発声・発音を身につけよう①		
	7	ヒアリングの手法、ヒアリングから目的の洗出し		
	8	文章の中から感情やニーズを理解するための手法		
	9	ビジネスにおけるコミュニケーション術 (話ことば、敬語)		
	10	ビジネスにおけるコミュニケーション術 (ビジネス文書)		
	11	ビジネスにおけるコミュニケーション術 (ノンバーバル)		
	12	集団面接/グループディスカッション (はなす、きく、かく)		
	13	集団面接/グループディスカッション (はなす、きく、かく)		
	14	就職活動に向けてのコミュニケーションの使い方		
15	総合演習			
授業の進め方・履修の心構え	日常で当たり前に行っている会話の「話す」「聞く」の基本を学びます。言葉の力や伝える力をゲーム感覚で学ぶので楽しく参加してください。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況 (3) グループワークによる評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

開講年度	2024年度	科目名	AIプログラミング I	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	ITエンジニア学科	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	Pythonは、AIに関連の言語として人気が出てきているプログラミング言語です。Pythonを学ぶための準備からプログラムの書き方、基本文法、制御構文、関数までの基礎学習、簡単なアプリの制作や機械学習を体験演習を行い、初級Pythonエンジニアを目指します。			
到達目標	Pythonの基礎構文を理解し、プログラムが組めるようになる。			
教科書・教材	やさしいPython / SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	Pythonの基礎と環境構築		
	2	変数と式		
	3	条件分岐、繰り返し		
	4	リスト		
	5	コレクション		
	6	関数		
	7	クラス		
	8	文字列と正規表現		
	9	ファイルと例外処理		
	10	中間まとめ		
	11	機械学習の基礎		
	12	機械学習の応用		
	13	AIプログラミングについて		
	14	演習①		
15	演習②			
授業の進め方・履修の心構え	教科書や資料をもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。Javaが苦手でもPythonだとわかることがあるので、プログラミング言語を苦手でもプログラミングの楽しさ、奥深さを学んでください。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 制作物による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。科目A試験及び、科目B試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	科目A試験問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	科目A試験問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	科目A試験問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	科目A試験問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	科目A試験問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	科目A試験問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	11	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	12	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	13	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	14	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>科目A試験免除保持者は科目B試験問題を、未保持者は科目A試験・科目B試験両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。科目A試験及び、科目B試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	科目A試験問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	科目A試験問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	科目A試験問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	科目A試験問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	科目A試験問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	科目A試験問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	11	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	12	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	13	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	14	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>科目A試験免除保持者は科目B試験問題を、未保持者は科目A試験・科目B試験両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2024年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 II	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2024年度	科目名	Javaプログラミング受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、サーティファイ主催Javaプログラミング能力認定試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。各級位の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	Javaプログラミング能力認定試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (式と演算子)		
	2	問題の内容理解と練習 (条件分岐)		
	3	問題の内容理解と練習 (繰り返し)		
	4	問題の内容理解と練習 (配列)		
	5	問題の内容理解と練習 (メソッド)		
	6	問題の内容理解と練習 (クラスとインスタンス)		
	7	問題の内容理解と練習 (継承)		
	8	問題の内容理解と練習 (インターフェース)		
	9	問題の内容理解と練習 (多様性)		
	10	問題の内容理解と練習 (カプセル化)		
	11	問題の内容理解と練習 (クラスライブラリ)		
	12	問題の内容理解と練習 (例外)		
	13	問題の内容理解と練習 (スレッド)		
	14	問題の内容理解と練習 (GUI)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。分からない問題は自分で実際にプログラミングし、実行結果を確認して理解を深めましょう。</p>			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験1～3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2024年度	科目名	MCP受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	本科目は、マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。グレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。			
到達目標	マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	2	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	3	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	4	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	5	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	6	問題の内容理解と練習（データ）		
	7	問題の内容理解と練習（データ）		
	8	問題の内容理解と練習（データ）		
	9	問題の内容理解と練習（データ）		
	10	問題の内容理解と練習（生産性）		
	11	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	12	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	13	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	14	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2024年度	科目名	MOS受験対策講座	
<b>科目基本情報</b>				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
<b>授業・科目情報</b>				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。各オフィスソフトでグレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) 合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (Word)		
	2	問題の内容理解と練習 (Word)		
	3	問題の内容理解と練習 (Word)		
	4	問題の内容理解と練習 (Word)		
	5	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	6	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	7	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	8	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	9	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	10	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	11	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	12	問題の内容理解と練習 (Access)		
	13	問題の内容理解と練習 (Access)		
	14	問題の内容理解と練習 (Access)		
15	問題の内容理解と練習 (Access)			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist)</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格</p>	